

2022. 7.28 No.70

主催 柳井地区広域市町議会議長会

山口県土木建設部次長	山口県土木建設部技術管理課長	山口県土木建設部技術管理課所長	山口県土木建設部技術管理課主任
栗月藤本	坂本	藤和宏	藤和宏
様	様	様	様

柳井地区広域市町議会議員研修会

第3回臨時会は4月18日
(月)に開催しました。

第3回臨時会は、4月18日に開催され、市長から議案第28号「柳井商業高等学校跡地複合図書館建設計画に関する住民投票条例の制定について」、議案第29号「令和4年度柳井市一般会計補正予算(第1号)」の議案2件が提案されました。

議案第28号は、地方自治法の規定により住民から直接請求のあった柳井商業高等学校跡地複合図書館建設計画に関する住民投票条例の制定についてです。市長の意見、請求代表者の意見陳述を行い、本会議で様々な視点から活発な質疑及び討論を行い、反対多数で否決となりました。議案第29号は、介護



議案第28号の採決の様子

保険事業所や児童福祉施設等に新型コロナウイルスイルス抗原検査キットを配布する経費、子育て世帯の支援、市内経済の活性化を図るためプレミアム付商品券を発行する経費などが計上されました。各所管の常任委員会に付託され、直ちに委員会を開催して慎重審査の後、本会議で委員長報告、討論・採決を行い、全会一致で可決しました。

第4回臨時会は5月26日
(木)に開催しました。

第4回臨時会は、5月26日に開催され、市長から議案第30号から第32号までの「工事請負契約の締結について」の議案3件が提案されました。

本案は、いずれも柳井市複合図書館新築工事に伴う工事請負契約の締結に関するもので、総務文教厚生常任委員会に付託され、直ちに委員会を開催して慎重審査の後、本会議で委員長報告、討論・採決を行い、全会一致で可決しました。



6月定例会 6月13日(月)～27日(月)までの15日間の会期で開催

今定例会では、初日に、議案5件、承認4件、同意3件、報告6件が市長から提案され、補足説明、質疑の後、承認及び同意は即決しました。議案5件は、各所管の常任委員会に付託しました。また、請願1件及び陳情5件が上程され、請願は総務文教厚生常任委員会に付託、陳情は配布・表題等の読み上げがなされました。一般質問は6月13日に3人、14日に5人、15日に3人の議員が19項目にわたり、市長、教育長及び関係参与に質問を行いました。

会期中の6月16日に総務文教厚生、17日に建設経済水道の各常任委員会を開催し、付託議案等について審査を行いました。27日の本会議最終日は、議案5件について、委員会での審査の経過と結果が報告され、討論・採決を行い、議案はいずれも原案のとおり可決しました。請願については、継続審査と決しました。

(審議結果は4ページ参照)

令和4年度
柳井市一般会計補正予算
(第3号)

本議案は一般会計について1億3,928万6千円を追加するので、歳出の主なもの

は次の通りです。
総務費 企画費には、地区コミュニティ協議会の活動に必要な備品を整備するため、一般コミュニティ助成金が計上されています。当初予算においては、1

地区への助成を予定していましたが、今般、自治総合センターから、宝くじ助成金の交付決定を受けたことに伴い、1地区分追加するものです。



市長による議案説明

民生費 大畠保育所費には、施設改修工事費が計上されています。これは、本年2月下旬以降、徐々に大畠保育所遊戯室の床材に、反り、膨らみが生じ、部分的な補修を行ってきた

ましたが、床材の変形破損が著しく進行し、保育に支障を来してき



衛生費 保健対策費には、個別・集団接種に係る委託料、電話相談・予約受付を行うコールセンター委託料や諸借上料など、4回目の新型コロナウイルスワクチン接種に対応するための経費が計上されています。3回目の接種後5か月以上経過した方のうち、60歳以上の方及び18歳から59歳までの基礎疾患を有する方等に対して、1回の追加接種を行うとされており準備が整い次第、

開始することとなっています。

教育費 給食センター運営費には、学校給食会運営費補助金が計上されています。これは、物価高騰等の影響が懸念される中、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を提供しつつ、給食費を現状の水準に据え置くために必要な額について、柳井市学校給食会に補助するものです。



災害復旧費 過年土木施設災害復旧費は、令和2年7月の豪雨により、被災した市道に係る災害復旧工費が

計上されています。復旧工法において、現場発生土の再利用を想定していましたが、土質試験の結果、再利用は困難であることが判明し、新たに離れた土取場からの運搬が必要となったことによるものです。



双葉愛保育園の認可と柳井市の保育環境・保育の質の向上を図る請願

本会議で紹介議員による補足説明の後、総務文教厚生常任委員会に付託され、委員会では継続審査となり、本会議最終日に討論・採決を行い、継続審査と決しました。

会議のお知らせ

閉会中の各委員会の日程及び付託調査事項は次のとおりです。

○建設経済水道

常任委員会

8月1日(月) 午前10時から

・中心市街地の活性化と企業誘致について

・地域資源を生かした観光の振興について

・上下水道事業について

○総務文教厚生

常任委員会

8月3日(水) 午前10時から

・学校教育等問題について

・市民生活に関わる社会福祉について

・環境に関する調査について

【場所】

全員協議会室(市役所5階)

※傍聴することができます。

令和4年6月定例会議案等の審議結果

【全会一致で議決した議案等】

【議案】

- ・柳井市議会議員及び柳井市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- ・柳井市税条例等の一部改正について
- ・地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について
- ・周東環境衛生組合の共同処理する事務及び規約の変更について
- ・令和4年度柳井市一般会計補正予算（第3号）

【承認】

- ・専決処分の承認を求めることについて
[柳井市税条例の一部を改正する条例]
- ・専決処分の承認を求めることについて
[柳井市都市計画税条例の一部を改正する条例]
- ・専決処分の承認を求めることについて
[柳井市国民健康保険税条例の一部を改正する条例]
- ・専決処分の承認を求めることについて
[令和4年度柳井市一般会計補正予算（第2号）]

【同意】

- ・教育委員会教育長の任命について（西元 良治氏）
- ・教育委員会委員の任命について（瀬山 真紀子氏）

- ・固定資産評価員の選任について（藤森 斉氏）
【報告】

- ・令和3年度柳井市一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- ・令和3年度柳井市一般会計事故繰越し繰越額の報告について
- ・令和3年度柳井市水道事業会計予算の繰越しの報告について
- ・令和3年度柳井市下水道事業会計予算の繰越しの報告について
- ・柳井市土地開発公社の経営状況について
- ・一般財団法人やない花のまちづくり振興財団の経営状況について

- 【陳情】……………（配布・表題等の朗読）

- ・山口県岩国児童相談所の不作為による要保護児童の自殺に関する陳情書
- ・女性トイレの維持及びその安心安全の確保について
- ・国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情
- ・沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

複合図書館について
ソフト面の充実はどうするか

三島 好雄 議員

問 新しい施設を造るとき、一番大事なのは、中心を務める館長の力量である。館長はどうするののか。

答 移転計画や配架計画の策定とその作業建築現場との調整など多岐にわたる業務が求められる現在、スムーズな開館に向けて館長は職員での対応が適切であると判断した。転換時期を超えれば、外部人材の登用についても検討したい。

問 複合部分に3Dプリンターを購入するという話があったが、どうするのか。

答 複合図書館には、スタジオと呼ぶ10の部屋を整備し、このうちのスタジオ1への設置を検討している。

問 やない市民活動センターの職員は、みな図書館に行くように聞いているが、どうするのか。

答 やない市民活動センターは、複合図書館内に移転し、図書館職員らとともに事務室で業務にあたることになる。それぞれの職員が連携・協力することでイベントの開催や準備をこれまで以上に効率的また、的確

に遂行できると考えている。

問 ダンスの稽古などは鏡が必要であるが、移動可能なものを2つくらい設置してはどうか。

答 備品類は、利用団体等の要望を聞きながら、準備していきたい。

問 語学教育専門のための語学ブースの設置は検討できないか。

答 語学ブースとしては、発声練習ができる自習室や、教材を視聴するスペースが考えられる。防音機能を備えたスタジオを2部屋、専用教材を視聴できる視聴覚ブースを3席整備する予定である。

問 最近では、大学受験用のマンガがある。歴史だけではなく、数学や物理などのマンガがあり、このマンガを読んで東京大学に合格した、というテレビ番組もあり、導入してはどうか。

答 現在、学習意欲を高めることに有益と思われるマンガ形式の図書について、児童書を中心に所蔵している。中高生向け図書の充実を図る中で検討していきたい。

柳井市基本構想の具体的推進事業について



君国 泰照 議員

問 産業について。市長の4期にわたる献身的な努力により、その成果が次第に表れております。

答 今後は機械製造業はもちろんのこと、柳井市の地形、特性を活かした産業の誘致、開発をして働く場の確保、人口減少の歯止めをする必要が急務であります。今後の対応についてお尋ねをいたします。

答 先般、新聞紙上で「誘致企業柳井に次々進出」と題した記事が掲載されるなど、目に見える成果となってきた。今後は、製造業、非製造業を問わずより多くの、また多様な業種の企業を誘致することにより、働き先が広がり、より多くの若者たちが地元で就職できることが、結果として、究極の子育て支援、人口減少の抑制に繋がると考えている。

問 観光について。十年一日のごとく伸びがなく現状のままの観光で良いのか。白壁の町並みや観光拠点、やまぐちフラワースタンドもマンネリ化して今ひとつ魅力に乏しく変わ

映えがしないとの声があるが、見通しや、改善策はないかをお尋ねいたします。

答 市の観光の中心的役割を担う柳井市観光協会は、青森県弘前市との交流による「弘前ねぶた」の製作展示など、大畠観光協会はシーフードや瀬戸のうずしおを前面にPRするなどの取組を始めている。引き続き、取組に必要な支援を行いたい。

問 文化について。市民から愛され、文化を育む街として、より一層の文化活動やイベントの開催。サンビームやないでのコンサートや活用運営のあり方についてお尋ねいたします。

答 サンビームやないでは、平成19年度以降、各種文化団体への貸館運営のみ継続してきたが、今年度は買取公演の実施や、新たな取組として、高校生をはじめ若い世代へ発表の機会を提供するサマーコンサートを8月21日に実施する。来年度以降についても自主文化事業の充実を図ってまいりたい。

給食の牛乳代無料化について 水道料金値下げについて 「水田活用交付金」について



長友 光子 議員

問 給食費の無償化をめざして、まずは牛乳代を無料にすることが必要と思うがいかがですか。「原油価格・物価高騰対応分」の交付金を活用し一定期間実施することについては、いかがですか。

答 給食費については、学校給食法の中で、保護者負担とすることが規定されており、引き続き学校給食法の基本原則に沿って対応したい。食料価格の高騰による学校給食を考慮し、従来通りの給食費で、栄養バランスの取れた学校給食を継続するため、一般財源にて高騰分相当の補助金を計上している。今後、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の「原油価格・物価高騰対応分」への財源振替も検討したい。

問 高すぎる水道料金の値下げのために、県に相当額の高料金対策補助金を強く求めていくべきと思うが、いかがですか。料金体系の見直し、そして多子家庭やひとり親家庭に対する料金の減免に、すぐにでも取り組むべきと思うが、いかがですか。

答 毎年県に対し、水道事業高料金対策に係る補助金継続の要望活動を行っている。経営の改善など経費削減に取り組んでいるが、人口減少による減収などもあり、国、県、市からの支援により現料金が維持できている状態である。事業を将来にわたって安定・継続的に運営していく観点から、多子家庭やひとり親家庭の水道料金を値下げすることは困難であると考えている。

問 「水田活用交付金」の見直しは、交付金の大幅カットにより、耕作放棄地や離農者が一気に増えることになると思うが、いかがですか。実態を把握し、関係機関に見直しや中止を強く働きかけることが重要と思うが、いかがですか。

答 本年4月の山口県市長会議において、水田活用の直接支払交付金の見直しについて議論があり、今回の制度見直しの実施にあたり、必要な支援措置を講じるよう農林水産大臣、県選出の国会議員並びに山口県知事に対し、要望することとした。

本庁舎一階の職場環境について



田中 晴美 議員

問 少し前に市民の方から一階の職場はコロナ禍においては少し密ではないかとお話がありました。確かに他の階に比べて職員さんの数も多いし、何よりも市民の方々の相談が一番多い所ではないでしょうか。

答 現状は通路の真ん中に長椅子が置いてありそれぞれの課とはテーブルをはさんで来客用の椅子と職員さんのイスがセットされています。市民の相談には即対応できサービスはともよいと感じます。しかし一階の市民からの相談の多くはプライバシーの保護を必要とする事も多いのではないだろうか、できればそれぞれの課に一つずつ個室あるいはついたてなどプライバシーの保護される所を設置できないものだろうか、現状むずかしいのはわかっています。例えば玄関ロビーに課を一つ移動しスペースを取る事はできないか、また今日のコロナ感染防止対策についてお伺い致します。

置している。そうした中、多様化、複雑化する行政需要に対応し、業務を効率化するため、多くのシステム機器を導入している。このため、執務スペースが拡大し、来庁者の待合スペースが狭くなっている一因となっている。なお、コロナ禍にあつて、マスク着用や手指消毒、定期的な換気、アクリル板を挟んでの対応など感染対策に努めているところである。また、プライバシーの配慮については、相談内容に応じて相談室や会議室、市民生活課執務内にある外部からの視線を遮断するスペースを適宜使用している。ただし、個室の数は必ずしも充足していないものと認識している。そうした状況の中、再来年の春、現行の柳井図書館が複合図書館内へ移転した後、本庁舎3階にある教育委員会を現在の柳井図書館へ移転する予定である。これによる空きスペースを活用し、庁舎全体において執務スペース、待合スペースの改善につながるよう取り組みたい。

複合図書館の運営について



岩田 優美 議員

問 新しい図書館は、あらゆる世代の市民が自分のための情報を得られる場所である必要があります。まず始めに図書館協議会委員と図書館サポーターの役割と活動内容についてお伺いいたします。

答 図書館協議会委員は、図書館運営に積極的に関わっていただける方を任命する予定である。図書館サポーターは、イベントの企画運営などをお手伝いいただいたり、中高生による学生サポーターも予定している。

問 移転の期間を6か月と長い期間を取っていますが図書館の閉館は3か月が限度だと思います。この間何をするつもりなのかと、図書館長を移転時に公募しない理由についてお伺いいたします。

答 移転に伴う休館期間は、他市の事例も参考にし計画的に進めたい。図書館長については転換期である現在、職員で対応していきたい。

問 21時まで開館でスタッフ14人は少ないのではないかと思います。更

に夜間委託では市民サービスの低下となります。司書を配置することはできないのか勤務体制をお伺いいたします。

答 正職員3人、会計年度任用職員として図書館司書を8人、市民活動相談員3人の計14人でローテーションを組み、9人か10人の体制で運営していく。自動貸出、返却機の導入により利便性は向上すると考える。

問 教育委員会管轄となる市民活動センターと図書館の連携をどのようにしていくのかお伺いいたします。

答 同じ施設内で執務を行うため、これまで以上に密接に連携を図り、市民活動団体への対応などについても迅速に行ってまいりたい。

問 複合図書館を中心とした文学碑を巡る回遊コースとして道路の整備と案内板を設置できないのかお伺いいたします。

答 市外から訪れた方などにもわかりやすいサイン看板を公園内やゾーン内に設置することについて、検討していきたい。

新たな都市計画の展開で、町中に活力をもたらす方策について



篠脇 丈毅 議員

問 都市計画道路は決定から約60年、大幅見直しには市民の痛みを伴うが、どう理解を得る考えですか。

答 昨年8月に柳井市都市計画道路見直し方針を策定、公表した。これに基づき、計画の変更に至る考え方について土地所有者をはじめ地元関係者に対し説明を行い、ご理解をいただきながら、おおむね5年をめどに見直しを行うこととしている。

問 下水道整備には長期間と膨大な経費を伴うことから、国県の指導により、抜本的見直しを行うが、関係市民にどう理解を得る考えですか。

答 令和2年度から汚水処理施設整備構想の見直しを行っている。事業計画区域の変更に至った経緯を関係者に丁寧に説明し、合併処理浄化槽の普及による良好な生活環境や水質保全に努めてまいりたい。

問 前山本知事肝いりの「まちづくり構想」が新しい都市計画にどう活かされていますか。

答 当時の山本知事が掲げた「コンパクトなまちづくり」の概念は、国

の立地適正化計画制度に先駆けるものであり、その基本的な考え方は、法定計画である柳井市立地適正化計画に反映させている。

問 多世代型コミュニティの形成には、にぎわい拠点の整備が必須、有近県議が提案される「ごちやまぜのまちづくり」をどう評価されますか。

答 コンパクトなまちの実現によるまちなかのコミュニティの在りようとしては、住民同士だけでなく、住民と事業者、住民とこの場所を訪れる人たちとの交流という視点も重要であると考えている。

問 立地適正化計画の推進には、地域コミュニティの形成が必要、中心となる組織をどう考えていますか。

答 商業者や事業者の方々は地域において、いろいろな形で貢献されている。商工会議所や商店街の方々の意見も聞きながら、住民発意のもとでまちづくり、コミュニティの形成を図っていききたい。

アデリーホシパーク及びやまぐちフラワールランドの活用について 街中に温泉付きサイクリングターミナル



岡本 泰行 議員

問 この一帯の恵まれた自然環境は将来宝の山になる可能性を秘めています。素晴らしい花公園となるよう周りの休耕田をレンゲ、菜の花、コスモスで埋め尽くし、法面を芝桜、山には梅、桃の木をボランティアの方たちと植樹して、市民が一日中楽しめる癒しの場を作りましょう。プールや温浴施設、スポーツ施設もあるの、やまぐちフラワールランドの駐車場一部をオートキャンプ場やスケートボードパークとするのも良いと思います。道の駅で農水産物販売所も可能ではないでしょうか。立派な施設を無駄にしないよう市民の意見を取り入れながら皆で参加して、夢を実現できないかご意見を伺います。

答 今年度から、アデリーホシパークの指定管理者であるミズノスポーツサービス株式会社と協議を行い、来園者にさらに気持ちよく利用していただけるように園内の草刈りや樹木の剪定の作業頻度を増やすなどして取り組んでいる。やまぐちフラ

ワールランド周辺の休耕田は、個人所有の財産でもあり全ての景観整備は難しいが、農地保全、地力保全などの観点から景観作物の作付けの呼びかけ等を行っている。駐車場のオートキャンプ場や道の駅としての活用は、県の施設であり、最終判断は県であるが、現時点では課題も多く困難であると認識している。いずれにしても、皆様方からの多様な意見をいただきながら、さらなる工夫を重ねてまいりたい。

問 街なかで長く営業され市民の憩いの場となっていた銭湯が廃業され残念に思っています。サイクル県やまぐちの東地区拠点サイクリングターミナルと銭湯を併設した施設の建設を官民一体となり、実現できないかご意見を伺います。

答 街なかの温泉付きサイクリングターミナルは、サイクリングにより疲れた体をいやすには魅力的なものと考えられる。今後、民間業者等による取り組みがあれば、市として可能な支援を行いたい。

柳井市の活性化（再開発）三点、表彰後の支援、危険通学路について質す



坂ノ井 徳 議員

問 柳井市の活性化については、コロナ禍が収束した後の活性をどの様にするのか。観光面、サンビームやないを活用した芸術・文化の発展。ことさら活性に向けて活動されている方を紹介して今後の在り方について伺いました。最後にスポーツのまち柳井の活性化を伺いました。

答 今後は、3年ぶりに開催する柳井金魚ちようちん祭りや柳井まつりなどの各種イベントによる誘客、にぎわい創出を再開していく。また、市内外の活動団体等に、サンビームやないでイベントを開催していただくことにより、市民の芸術・文化にふれる機会が増え、本市の芸術・文化の発展につながっていくと考える。さらには、大学のスポーツ部の合宿や、3年ぶりに開催予定のサザンセット・ロングライドinやまぐちなどのイベントを通じた宿泊客の誘致と物販の促進など、「宿泊を伴うスポーツ観光」を新しい観光の一つに位置付け、一段と注力していきたい。

問 二番目は叙勲・表彰された方々の今後の活動の必要性により、どの様に支援するのか。日積の里山再生をされている団体・動物愛護活動をされている一家の例を挙げて伺いました。

答 地域に根差した活動を含め、各分野で真摯に取り組まれ、本市のためにご貢献いただいている個人や団体に対し、その取組の継続とさらなる発展のため、そのご功績に対し感謝の意を表する方法について、工夫していきたい。

問 最後に県内975ヶ所ある危険通学路のうち柳井市内にある危険通学路の現状と対処について伺いました。

答 昨年度、国において通学路危険箇所再調査がされ、本市では56ヶ所を危険箇所として報告した。危険箇所については、令和3年度末までに48ヶ所の対応が完了しており、残り8ヶ所においても引き続き対応に努めてまいりたい。

県道柳井上関線について
中学校のクラブ活動について



藤沢 宏司 議員

問 県道柳井上関線伊保庄バイパスの黒島地区から八幡団地付近までの通行が今年3月30日から可能となりました。今回の部分開通をより効果的にするためには早期の全線開通が必要ですが、この道路の全線開通の時期と現在の進捗状況をお聞きします。

答 県道柳井上関線伊保庄バイパスは、黒島地区から阿月バイパスまでの延長約4.5kmのうち約3kmが供用されている。全線開通の時期については、未買収地が残されており、現時点で見通しを示すことは困難である。本市含め2市4町で構成している山口県東部高速交通体系整備促進協議会として、引き続き早期完成を強く要望してまいりたい。

問 中学校のクラブ活動について見直しがされるように聞いていますが、今後のクラブ活動はどうなるのでしょうか。保護者や児童、生徒にこれまでのように説明され、今後どのように説明されるのかお聞きします。

答 近年、部活動は、少子化の進行による部員不足や、競技経験のない教師が指導等を求められるといった実態がある。また、国会においても部活動を学校以外の主体が担うなど地域単位として取り組むことを早期に実現するよう指摘があった。6月6日にスポーツ庁から発表された提言では、令和5年度から令和7年度末までの3年間で改革集中期間とし、休日の運動部の段階的な地域移行を行うことが明記された。したがって、まずは休日の部活動から段階的に地域に移行することになる。なお、文化部においても、運動部と同じ方向で、現在検討されている。本市としても4月26日の提言案の発表を受け、5月に入り保護者や関係団体に正確な情報を提供した。今後

も適宜、新たに得た情報の周知に努め、スムーズな地域移行をめざしたい。



市職員がより働きやすい環境整備について、
柳井駅南口改札整備について、小型循環
バス事業等の移動手段拡充について



下村 太郎 議員

問 市職員は市民生活の維持・向上にとって極めて重要な存在と考えますが、令和2年度及び3年度の定年以外の退職者数は、例年平均の2倍程度の水準になっています。内訳を見ると経験を積んだ職員の退職が相次いでいます。要因分析及び多面評価や定期的な人事面談など想定される改善施策をどのようにお考えか伺います。

答 経験を積んだ職員は、市民生活の維持・向上に取り組む上で重要な存在である。職員が働き続けるために、適材適所の人員配置や、働きやすい風通しの良い職場づくり、各種研修による人材育成などを推進している。

問 通院、通学、通勤等の市民の利便性を鑑みれば、無人改札等も含めて柳井駅の南口改札を整備するべきと考えますが、見解を伺います。

答 改札の設置は、建設費だけでなく、設置後の管理運営費、人件費も含めてすべて地元自治体が全額負担する仕組みとされている。必要性は

十分に認められるが、以上のような理由から引き続き将来的な検討課題としている。

問 市民の移動手段確保のため、市内を循環する小型バス事業等のより幅広い市民に利便性の高い移動手段確保を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

答 市内巡回型のバスは周回ルートをとることで、①目的地への到着時間が長くなること、②複数車両で運行しなければ利便性が向上しないこと、③利用者の有無にかかわらず運行することによる経費の増大などの課題があり、ただちの導入は困難である。令和2年10月から、予約制乗合タクシーを導入し、本年10月からは、伊陸地区及び阿月地区にも導入予定である。予約制乗合タクシーで市街地に出て、路線バス、タクシー、平郡航路で利用できる助成券を交付する高齢者お出かけサポート事業を活用し目的地に行くなど組み合わせたいことで、利用者の利便性が向上するものと考えている。

柳井市の学校教育行政について



平井 保彦 議員

問 学校教育の情報化推進に関して、タブレットの活用状況、健康面への配慮、情報セキュリティ対応、情報資産の管理、メディアリテラシーの育成等について伺います。

答 昨年度から市内の小・中学生は1人1台のタブレット端末・を活用し学習を行っている。健康面では視力の低下が心配されるため、家庭へ注意喚起を行っている。情報セキュリティに関して、市教育委員会において規約を定め、個人情報保護や適正利用等の徹底を図っている。各学校においても管理基準を定め、高い意識を持って対応している。学習履歴や検索履歴といった情報資産は、業者が高いセキュリティの下管理している。メディアリテラシーの育成については、各教科を通して総合的に指導している。例えば、メディアを活用した授業の中で、必要な情報を取り出し、児童生徒同士がその情報をもとに課題解決を図り、わかりやすく説明するなどの力を育成している。

問 学校教育現場におけるコロナ禍の影響とコロナ禍後に向けた取り組みについて伺います。

答 コロナ禍における学校生活では、コロナに対する何気ない発言や行動が、トラブルに発展することもある。児童生徒には、感染症に対する正しい知識や感染症罹患患者への配慮について指導している。コロナ後に向け、密集・密接を避けつつ、地域の方々の力をお借りする場面も増やし始めている。

問 改正された教育委員会制度が柳井市教育行政に与えた効果・影響について伺います。

答 教育委員長と教育長を一体化した新たな教育長の設置により、任命責任や第一義的な責任者が明確になった。次に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市長と教育委員会が相互連携を図るための、総合教育会議を設置した。また、柳井市教育大綱を市長が策定することで、教育政策に関する方向性がより明確になった。

総務文教厚生

常任委員会

委員長 岩田 優美

本委員会は、会期中の6月16日、臨時議会の4月18日、5月26日及び閉会中の5月9日に開催し、議案8件、請願1件及び付託調査事項等について審査を行いました。

議案第29号令和4年度柳井市一般会計補正予算（第1号）では、委員からやない子ども応援買物券事業について、買物券を配布するより現金を振り込む方が事業費も節約でき子育て世帯にとっては金銭的にはどちらも同じではないのかとの質疑に、現金を振り込むと貯蓄に充てる方もおられるため、今回は経済対策の一環として地域経済の活性化を図りたいとの答弁がありました。



議案第30号31号32号複合図書館新築工事に係る工事請負契約の締結について、委員から機械設備工事を随意契約とする理由として、最低入札価格と予定価格との差が少額だからとのことだが範囲はいくらかとの質疑に、判断の目安は予定価格に占める割合でおおむね5%以内としている。この度の工事では、2.4%となるため基準に該当するとの答弁がありました。

議案第36号周東環境衛生組合の共同処理する事務及び規約の変更について（岩国市周東町及び玖珂町を加える）、委員から将来的には、し尿処理量が減ると思うがいかがかとの質疑に、岩国市の推計によっても人口減少等により、し尿の搬入量は減少する予測であると答弁がありました。

高騰分の補助はいつから補助するのか、また、別の委員から今後も上昇した場合いくらまで補助するのかとの質疑に、本年4月分から補助の対象とし、現在、価格がどの程度で安定するか見極めており、更なる補助の必要性については検討中であるとの答弁がありました。



請願第1号双葉愛保育園の認可と柳井市の保育園・保育の質の向上を図る請願について、委員から今まで同様の請願が3回提出され、その間に市の単独制度として通所する市民の保育料や運営費の助成をしているが認可はされていない。理解

を深めるため調査の必要があるので継続審査としてはとの意見がありました。

閉会中の付託調査事項は、スクールバス高校生等混乗化実証実験について、新型コロナウイルス感染症の感染状況と新型コロナウイルスワクチン接種状況について、環境基本計画等の進捗状況について、海洋ごみ対策に係る実践活動について報告がありました。

その他の事項でも報告と説明のあと多くの質疑が交わされました。



総務文教厚生常任委員会

建設経済水道

常任委員会

委員長 川崎 孝昭

本委員会は、会期中の6月17日及び閉会中の5月10日に開催し、議案2件及び付託調査事項等について審査を行いました。

議案第35号地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について、委員から対象となる事業所の基準は決まっているのかという質疑に、工場などではなく本社機能を持つ事務所や研究所であることが大前提であり、その他にも設備の取得時期など様々な要件があるという答弁がありました。

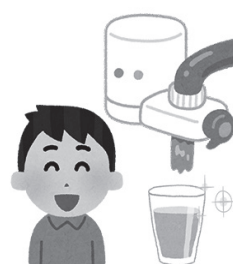
分割付託となりました議案第37号令和4年度柳井市一般会計補正予算（第3号）では、委員から災害復旧事業における起債の充当率を尋ねる質疑に、この度の国庫補助率は80%、起債充当率は90%であるとの答弁があ

りました。
また、別の委員から完成
予定はいつ頃になるのか
という質疑に、契約上は
令和4年9月30日として
いるが、天候等の状況に
よっては長引く可能性が
あるとの答弁がありまし
た。



付託調査事項では、「柳
井市飲用水応急対策事業
費補助金交付要綱」の制
定について報告がありま
した。委員から設置の補
助をするということだ
が、フィルター等の取り
換え等の補助は考えてい
ないのかという質疑に、
設置の補助であり、それ
以降の維持管理は補助対
象外であるという答弁が
ありました。また、別の
委員からフィルター等の
交換時の費用を尋ねる質
疑に、フィルター等の交
換は年間約1万円程度で
あるという答弁がありま

した。



その他の事項について
令和3年度に実施した柳
井市空き家等実態調査に
ついて報告がありました。
委員から危険な空き
家等の除却に対する支援
はどのようなものが対象
となるのかという質疑
に、老朽化しており危険
な家屋であること、また
倒壊した際に周辺に悪影
響があるところが対象で
あるという答弁がありま
した。



そのほか執行部から東
土穂石雨水ポンプ場建設
工事の進捗及び今後の予
定について報告がありま
した。委員から土質を改
善するために工期が遅れ
たということはないのか
という質疑に、基礎部分
の土壌が予想より非常に
悪く、土壌改良を行った
ため6か月から8か月程
度工事が遅れたという答
弁がありました。
そのほか、様々な観点
からそれぞれ発言があ
り、活発な質疑応答がな
されました。



建設経済水道常任委員会

議会運営委員会

委員長 中川隆志

議会運営委員会は4月
12日、5月23日及び6月
7日に開催されましたの
で、協議、審査の内容を
報告します。

(1) 4月の第3回臨時会、
5月の第4回臨時会及び
6月定例会の運営に関す
る協議を行いました。

(2) 教育委員の同意議案
について、新任の場合の
申し合わせにより、議場
でのあいさつを受けるこ
とを確認しました。

(3) 一般質問時の議席に
ついて、新型コロナウイルス
感染症予防のため、
一昨年6月以降と同様に、
議員の議席を変更し、執
行部も必要最小限の参与
のみの出席という対応を
行いました。

(4) 5月の臨時会及び
本会議に議長から発議の
あったクールビズについ
て、6月から9月までの
間、臨時会と本会議にお

いてノーネクタイまたそ
れぞれの判断により上着
を取っても良いとする旨
を協議しました。また各
委員会に委員外議員は出
席しない、傍聴人として
の入室も自粛することを
再確認しました。

議会運営委員会の閉会
中の付託調査事項は、引
き続き「議会の運営及び
議会の会議規則、委員会
に関する条例等並びに議
長の諮問に関する事項に
ついて」と決定しました。
議長に報告するとともに
取り計らいをお願いしま
した。



議会運営委員会

柳井市議会へようこそ／小学生が議場見学

5月13日（金）、余田小学校の6年生14名が、社会科学習の一環で市議会の議場を見学しました。

市議会を代表して、山本達也議長が「市民の皆さんにとって、暮らしやすいまちにするため議論している。皆さんたちが夢を持ち、その夢が実現するまちづくりをしていきたい」とあいさつ。

その後、児童たちは議会の仕組みや役割について学習し、積極的に質問していました。また、議場の中を見て回ったり、模擬投票を体験したりするなど、普段できない活動に目を輝かせていました。児童からは「また議会を見に行ってみたい」、「18歳になったら選挙で投票するのが楽しみだ」などの感想が聞かれました。



市議会の動き

4月8日、第88回山口県市議会議長会定期総会が宇部市で開催され、正副議長が出席しました。議員表彰に続き、令和3年度決算、令和4年度予算案並びに中国市議会議長会に提出する議案等について、審議するとともに、防府市議会議長を新会長とする役員改選が行われ、いずれも原案のとおり可決されました。

なお、本市提出議案は、山口支部提出議案として、中国市議会議長会に提出されました。

次に、4月26日、第150回中国市議会議長会定期総会が、鳥取県米子市で開催され、正副議長が出席しました。議員表彰に続き、令和3年度決算、令和4年度予算案並びに全国市議会議長会に提出する議案等について審議し、いずれも原案

のとおり可決されました。次に、5月25日、全国市議会議長会第98回定期総会が、東京都で開催され、議長が出席しました。議員表彰に続き、令和3年度事務報告、令和4年度予算案及び地方部会提出議案並びに会長提出議案等について審議し、いずれも原案のとおり可決されました。

また、本市議長は地方行政委員会委員に選出されました。



全国市議会議長会の様子

編集後記

梅雨が明けたかと思えば、今度は本格的な夏を迎え、台風シーズンとなりました。

農作物のためには、雨は恵みの雨となりますが、降りすぎると災害が起る可能性が高まってきます。

柳井市のホームページには、災害に関しての日頃からの備えや、「柳井たすかる！カード」、「土砂災害ハザードマップ」などが、掲載されています。これらを参考に災害が起きたらどのように行動すべきかを今一度ご家庭で話し合わせてはいかがでしょうか。

（岡村 茂樹）

やない議会だより編集委員会

委員長	下村 太郎
副委員長	長友 光子
委員	岡村 茂樹
委員	岡本 泰行